

財っ子通信 第7号 文責 校長：三樹和幸

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが **確実に定着し** みんなが伸びる学校

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

気持ちの良い香りを感じて、庭を見れば、いつの間にか橙に色づいた金木犀が立っていました。確実に秋は深まっています。

先日の運動会では、子供たちの精一杯の演技を観て頂き有り難うございました。これからは学問の秋に邁進します。



効率的な学問の罫

「分かりやすい授業が一番」という価値感が大勢を占めるようになってきました。確かに、分かりやすさは大切な要素ですが、その分かりやすさが、「事前に予習をしなくても分かる授業」「復習で定着しなくても身につく授業」と誤解されてしまうと、学習に労力をかけること自体が非効率という価値感になってしまうのではないかと心配します。どんなに素晴らしい授業でも、授業を受ける側に準備が整っていなかったり、授業後に自分なりにまとめ直さない力がつくはずがありません。出来るだけ努力をしないで、たくさん身に付けたいというのは誰もが望むことで、コマーシャルの多くは、その消費者心理を突いています。「一日10分の学習で3ヶ月後には英語が話せるようになる。」「1日2粒で、ダイエットが面白いように進む」などは、その典型でしょう。

この発想でいくと、役に立たないことは勉強しない、入試に関係ないから力を抜く、自分が分からないのは先生のせいと考える中高生に育つ気がします。しかし、学校で、なすべき学習は、しっかり忍耐強く取り組み、人間としての知性や感性を研いでいくものだと私は考えています。役に立つ勉強を求めていけば、一生、誰かに授業料を払っていくことになるかも知れません。自分で悩んで、考え、また、やり直す。そういった子供だから持ち得る時間を大切にしたいものです。

ですから、ご家庭で、宿題が出来ずに子供が悩んでいたら、少し、見守って、まずはチャレンジさせ、出来たら褒めるようお願いいたします。困っていたら、何も言わずとも誰かが気づいてくれて答えを教えてくれることが、当たり前になると、学び取る力はいつまでもつきません。親も子供も我慢の時は、大きく飛躍をする準備の時なのです。

NIE 教育に新聞を

来週27日のオープンスクール時に、宮崎日日新聞の「宮日こども新聞」担当者を招き、6年生を対象にした有権者教育を行います。今回、法律が変わり、18歳で選挙が出来るようになってきましたので、この教育は、小学生にとっても意味あることだと思っています。近年、学級委員長や児童会長選挙もありませんし、選挙についての経験が少ないまま、大人になることが危惧されます。

今回の機会に、有権者としての権利や選挙の持つ意味を学んで欲しいものです。この内容は、宮日こども新聞に特集ページが組まれ、本校児童6名の感想等が掲載される予定です。

運動会特集

運動会の開催は、春が良いのか秋が良いのかをテーマに、UMKが報道します。そこで 秋の運動会を行っている本校の様子が、

17日(土曜日)17:56~19:00 U-dokiで放映されます。

運動会当日に朝9時頃から午後2時ぐらいまで本校を取材していただきましたので、色んな様子が見られると思います。

